

地域の経済動向（令和3年7～9月期）

《釧路・根室地域》

1 経済動向に係る企業等の声（7～9月期）

【建設業】

- ・ 下半期の景気は、特定の業種を除いて、弱さはみられるもののある程度上向くものと考える。
（一般土木建築工事業）

【製造業】

- ・ 通販の売上が好調なため、昨年と比較して売上は増加している。顧客はリピーターが多いため、そこまで大きな変動はないと考えている。人手は不足しており、特に若い世代の働き手がない。ハローワークへ掲載し、正社員、パート問わず常に募集をしているが、そもそも面接に来る方自体が少ない状況。
（製造業）
- ・ SNSの普及で商品の知名度が高まったことや、自家消費だけではなくお土産や贈答品として購入される顧客が増加しており、既存商品の売上が好調。製造ラインを強化することにより、通販サイトでの売上が現在の売上相当額となる見込み。
（製造業）
- ・ 昨年より売上は少し上がってきている。催事が実施されればもっと回復するといった状態。通販事業が好調であり、ふるさと納税にも積極的に取り組んでいる。魚介の殻をむくなど繊細な作業も多いため、女性の働き手が特に欲しい。常にハローワークに掲載し、募集をしているが集まらない。
（製造業）
- ・ 緊急事態宣言により物産展や催事が中止となり、注文を受けたが出荷できないものもあり過剰在庫となっている。コロナの影響で売上の変動が激しい。平均したら平年並み。現状人手は足りているが、魚がとれず仕事が少なくなっているためであり、今後、仕事が増えたときに対応できなくなる不安がある。
（製造業）

【運輸業】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の蔓延で、観光客をはじめバス利用者の減少が著しく、雇用と組織を維持することに大変苦慮している。緊急事態宣言が解除されても、すぐには利用者が回復するとは考えにくい。約1年半に及んだ収入減は、短期間では取り戻せず、その間の負債は今後長期にわたって返済していかなければならない。行政には、現在実施している助成金、支援金、交付金などの制度を緊急事態宣言解除後も一定期間存続させ、併せて柔軟な制度運用をお願いしたい。
（一般乗合旅客自動車運送業）
- ・ 業況は厳しくなっている。人材育成には時間が掛かり、当社の社員年齢構成も平均52歳という状況であることから、若手職員を採用したい。即戦力を採用したいが、人が入ってこない状況なので自社で教育していくしかない。
（運輸業等）

【関係機関・団体】

- ・ コロナ禍の影響が強い観光・飲食業でも8月上旬までは業績回復の兆しが見られたが、中旬以降はブレーキがかかり、さらに緊急事態宣言の発令が決定したことから、同業種はさらに厳しい状況になると思われる。
（金融機関）
- ・ コロナの影響は、特に飲食業について打撃が大きく、顧客においても今年度に入り数件の廃業が確認されている。
（金融機関）
- ・ 新型コロナの影響で、飲食、小売、宿泊、交通運送関係への影響が大きい状況が続いている。
（金融機関）
- ・ 長引くコロナ禍においてイベントの中止、インバウンド等が減少しており、業種を問わず影響を及ぼしている状況。特に、飲食業については、打撃が大きく、今年度に入り、数件の廃業があった。水産関係においては、サンマ、鮭、ます等の記録的不漁があった。
（金融機関）
- ・ 飲食、観光業界の需要低迷に加え、水産資源の不漁による原料高騰もあり、各社とも売上、収益の確保に苦労している様子。
（支援機関）

2 道内金融機関から見た地域景況感 (7～9月期)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
非常に好調	好調	やや好調	普通	やや低調	低調	非常に低調

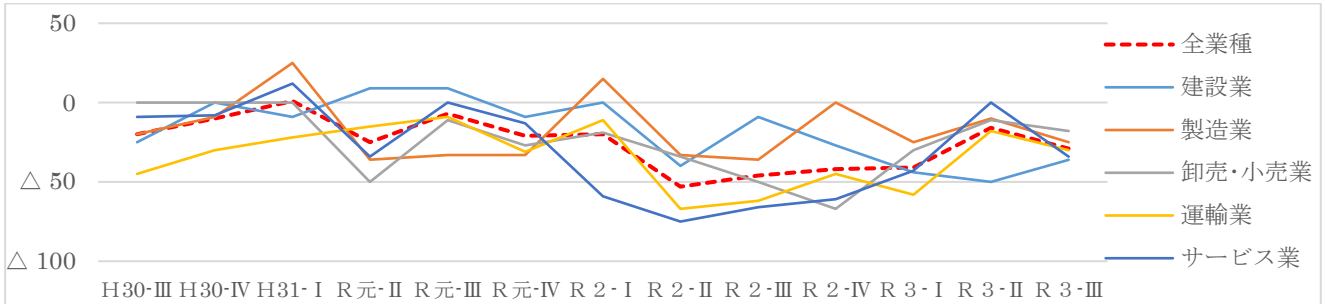
【直近の景況感】

	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産 動向	消費 動向	判断理由	方向感	判断理由
釧路信用金庫				新型コロナウイルス感染症の影響から、景況感は非常に厳しい状態が続いている。		ワクチン接種が進み、緊急事態宣言が解除になったことから、飲食業・宿泊業を中心に景気持ち直しに向けた動きが進む見込みである。ただ、赤潮による深刻な漁業被害が出ており、影響は注視する必要がある。
大地みらい 信用金庫				北海道で3度目となる新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が8月27日～9月30日まで施行され、宿泊施設ではツアー団体等のキャンセルが続出。飲食店については市町村独自のプレミアム付商品券の発売やGo To Eatの販売再開に伴い、テイクアウト需要が一部増加するもコロナ禍前に比べ低調。		9月30日で緊急事態宣言が解除されてからは、全国的に新型コロナウイルスのワクチン接種が浸透していることもあり、徐々に道内外からの観光客数は復活傾向。生産では、10月初旬道東沿岸に発生した赤潮の影響でウニ・秋サケが大量死し、地元漁業者や仕入業者への打撃は甚大。今後の他魚種への影響も強く懸念されており、先行き不透明な部分が多い中で長期的な注視が必要と判断。

【景況感の推移】

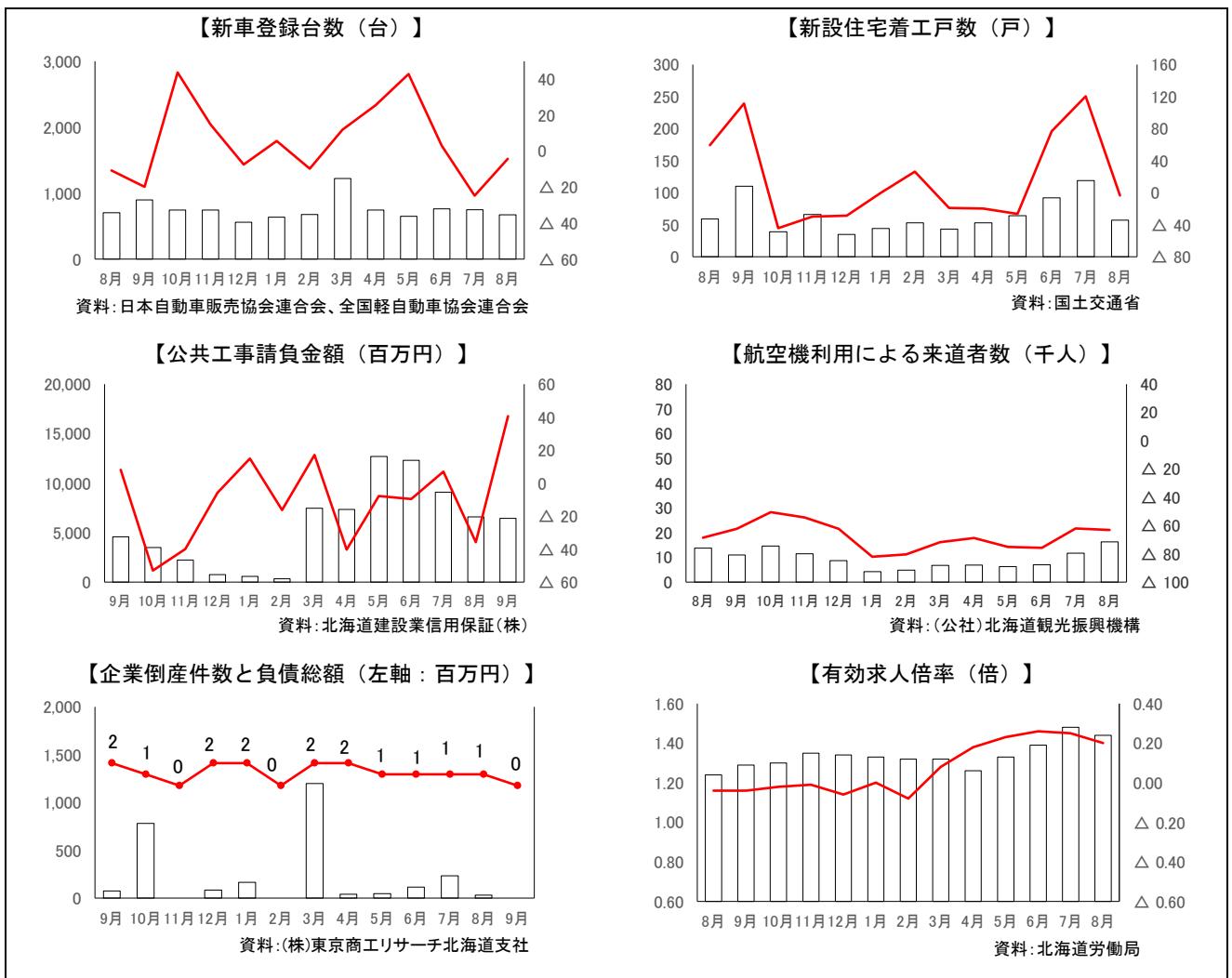
	R元-IV	R2-I	R2-II	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III
釧路信用金庫								
大地みらい 信用金庫								

3 業種別の業況感BSI (企業経営者意識調査)



	H30-III	H30-IV	H31-I	R元-II	R元-III	R元-IV	R2-I	R2-II	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III
全業種	△ 20	△ 10	1	△ 25	△ 7	△ 21	△ 20	△ 53	△ 46	△ 42	△ 41	△ 16	△ 29
建設業	△ 25	0	△ 9	9	9	△ 9	0	△ 40	△ 9	△ 27	△ 44	△ 50	△ 36
製造業	△ 20	△ 9	25	△ 36	△ 33	△ 33	15	△ 33	△ 36	0	△ 25	△ 10	△ 25
卸売・小売業	0	0	0	△ 50	△ 11	△ 27	△ 19	△ 34	△ 50	△ 67	△ 30	△ 11	△ 18
運輸業	△ 45	△ 30	△ 22	△ 15	△ 9	△ 31	△ 11	△ 67	△ 62	△ 45	△ 58	△ 18	△ 30
サービス業	△ 9	△ 8	12	△ 34	0	△ 13	△ 59	△ 75	△ 66	△ 61	△ 43	0	△ 34

4 各種経済指標



(右軸: 来道者数のみ前々年同月比、その他は前年同月比(差): %)